

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月28日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 研創

コード番号 7939 URL <http://www.kensoh.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 林 良一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長

(氏名) 浦上 忠久

TEL 082-840-1000

四半期報告書提出予定日 平成23年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,390	1.0	△82	—	△111	—	△141	—
23年3月期第2四半期	1,376	△6.2	△22	—	△52	—	△70	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△35.51	—
23年3月期第2四半期	△17.74	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,894	833	17.0
23年3月期	5,403	1,018	18.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 833百万円 23年3月期 1,018百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,630	8.5	144	△12.8	92	△17.0	81	△12.8	20.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	4,022,774 株	23年3月期	4,022,774 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	25,672 株	23年3月期	25,267 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	3,997,305 株	23年3月期2Q	3,997,657 株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、唯一の連結子会社でありました株式会社プラコムは平成23年12月28日に清算いたしましたので、前第3四半期より連結から非連結の開示となっております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における国内経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況から徐々に立ち直りつつありますが、円高の長期化による企業収益の悪化懸念に、欧州諸国の財政問題等の不安材料も加わり、先行き不透明な状況で推移しました。

当社が受注の拠り所としております民間非住宅建築業界におきましても、大震災の影響による民間設備投資の足踏みに伴い回復が遅れており、また不安定な経済環境で安価指向も強く、価格競争は一段と激しくなっております。

このような状況の中、当社は過去の取引実績を基準とする得意先区分毎に売上高目標、営業活動を計画し、毎月レビューを重ねながら鋭意推進しましたが、単価・数量ともに厳しい環境の中で、前年同期比ではプラスとなったものの、期首に計画した売上高を確保することは出来ませんでした。

損益面では、材料費、仕入品等のコスト高に加え、売上高の目標未達によって労務費等の固定費が割高となり、計画していた損失が拡大しました。

この結果、当第2四半期累計期間の経営成績につきましては、売上高は13億90百万円（前年同期1.0%増）、営業損失は82百万円（前年同期は22百万円の損失）、経常損失は1億11百万円（前年同期は52百万円の損失）となりました。

（注）上記記載の文章中、前年同期との比較においては個別の前年同四半期累計期間と比較しております。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は1億78百万円となり、前事業年度末に比べ90百万円増加いたしました。

（営業活動によるキャッシュフロー）

当第2四半期累計期間の営業活動の結果得られた資金は1億85百万円となりました。この主たる要因は売上債権が5億52百万円減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュフロー）

当第2四半期累計期間の投資活動の結果使用した資金は27百万円となりました。この主たる要因は有形固定資産の取得により12百万円支出したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュフロー）

当第2四半期累計期間の財務活動の結果使用した金額は68百万円となりました。この主たる原因は配当金の支払額が39百万円生じたことによるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想における売上高につきましては、第3四半期以降に見込まれる特需により当初の見込みより上昇すると思われませんが、経常利益・営業利益・当期純利益につきましては、第2四半期累計期間までのマイナス分を挽回するまでには至らず、当初の見込み額を確保できないと思われしますので、サマリー「3. 平成24年3月期の業績予想」のとおり修正いたします。

2. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	199,685	294,710
受取手形及び売掛金	1,345,601	793,391
商品及び製品	26,625	31,169
仕掛品	25,500	33,724
原材料及び貯蔵品	87,583	84,158
その他	90,790	53,847
貸倒引当金	△13,073	△13,363
流動資産合計	1,762,713	1,277,639
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	865,723	848,902
土地	1,422,080	1,422,080
その他（純額）	410,052	401,324
有形固定資産合計	2,697,856	2,672,307
無形固定資産		
無形固定資産	16,664	14,562
投資その他の資産		
投資有価証券	242,239	236,658
投資不動産（純額）	463,615	457,785
その他	230,724	247,166
貸倒引当金	△10,010	△11,156
投資その他の資産合計	926,569	930,454
固定資産合計	3,641,090	3,617,324
資産合計	5,403,803	4,894,963

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	760,715	511,864
短期借入金	1,560,695	1,302,235
未払法人税等	8,358	5,302
賞与引当金	33,185	34,846
その他	142,839	110,851
流動負債合計	2,505,794	1,965,100
固定負債		
長期借入金	1,454,925	1,684,704
退職給付引当金	93,102	96,537
役員退職慰労引当金	311,400	297,720
資産除去債務	1,990	2,005
その他	18,387	15,750
固定負債合計	1,879,805	2,096,716
負債合計	4,385,599	4,061,816
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	664,740	664,740
資本剰余金	264,930	264,930
利益剰余金	92,866	△89,060
自己株式	△8,224	△8,289
株主資本合計	1,014,313	832,320
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,890	827
評価・換算差額等合計	3,890	827
純資産合計	1,018,204	833,147
負債純資産合計	5,403,803	4,894,963

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,390,665
売上原価	936,432
売上総利益	454,232
販売費及び一般管理費	536,896
営業損失(△)	△82,664
営業外収益	
受取利息	1,793
受取配当金	1,939
受取地代家賃	13,087
その他	1,069
営業外収益合計	17,890
営業外費用	
支払利息	27,219
債権保全利息	8,152
その他	10,867
営業外費用合計	46,238
経常損失(△)	△111,012
特別利益	
受取保険金	12,276
特別利益合計	12,276
特別損失	
災害による損失	8,958
特別損失合計	8,958
税引前四半期純損失(△)	△107,694
法人税、住民税及び事業税	2,867
法人税等調整額	31,390
法人税等合計	34,257
四半期純損失(△)	△141,952

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期累計期間  
(自 平成23年4月1日  
至 平成23年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失 (△)	△107,694
減価償却費	56,535
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,435
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,660
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△13,680
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,435
受取利息及び受取配当金	△3,733
支払利息	27,219
売上債権の増減額 (△は増加)	552,210
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,343
仕入債務の増減額 (△は減少)	△248,851
その他の資産の増減額 (△は増加)	△1,954
その他の負債の増減額 (△は減少)	△43,079
小計	214,158
利息及び配当金の受取額	3,733
利息の支払額	△26,730
法人税等の支払額	△5,693
営業活動によるキャッシュ・フロー	185,468
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△65,100
定期預金の払戻による収入	60,200
有形固定資産の取得による支出	△12,666
投資有価証券の取得による支出	△120
敷金・保証金等の増減額 (△は増加)	△15,206
貸付けによる支出	△5,440
貸付金の回収による収入	11,267
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,065
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△290,000
長期借入れによる収入	875,000
長期借入金の返済による支出	△613,681
自己株式の取得による支出	△65
配当金の支払額	△39,531
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68,278
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	90,125
現金及び現金同等物の期首残高	88,585
現金及び現金同等物の四半期末残高	178,710



(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。